



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 ももなんですか? 「ももなん」です
- ・福島県 Earth Angels ・宮城県 (特活) ガーネットみやぎ
- ・千葉県 山武市からの贈り物
- ・山形県 第1回ひなん女子会/今年もお花見/スタッフ紹介
- ・今月のキーワード 生活支援相談員
- ・みんなの声 ・おすすめ情報 ・ひと休み ・避難者受入状況
- ・メッセージ 酒田市社会福祉協議会 ・編集部より

第37号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 4,000 部

ももなんですか? 「ももなん」です。

昨年12月、南陽市在住の避難者グループが「避難者同士の繋がり場の場を作りたい」という主旨で企画し、地元の支援団体や行政の協力を得ながらカレー会が開催されました。

そこから始まった「南陽避難者の集い」は、現在、週1回ペースの開催になり、避難してきた母親達が素直に思いを語り合える有意義な時間となっています。



4月に入り、いよいよこの集まりの名称を決めることになりました。集まった人々のあつこい協議の末に決まった名称は、「ももなん」です。

「ももなん」の意味は、やはり福島の名産である「もも(桃)」と、南陽の「なん」を掛け合わせたもの。分かりやすさを大切にしました。

この集まりの発起人である、菅原清子

さんは、「まずはサークル名が決まって良かったです。でもまだ名前が決まっただけで、細かいことはこれから出会う方達も含めて、一つひとつみんなで作っていければいいと思っています。」と、今後の展望を語られました。

「ももなん」に集う避難者の面々は、未就学児から中学生までの子どもを持つ、幅広い層のお母さん達。顔と顔で繋がる安心感を大切にしながら、お互いの価値観やそれぞれの生活状況を尊重し、不安・ストレスを軽減、解消することを目的に歩んでいます。

毎週水曜日の10時~12時、南陽市健康長寿センター(南陽市赤湯2-15-2)の2階にある和室にて開催されており、南陽市に限らず、近隣市町村にいる避難者の方の参加も大歓迎のことです。

(佐藤)



ももなん会場
いつもココ!→

☆「ももなん」についてのお問合せ窓口 (担当:菅原)

TEL 090-8780-9114

E-mail gawasura-kokiyo@docomo.ne.jp

復興ボランティアセンターやまがた



Twitter



@fukkou_center

facebook



http://www.facebook.com/fvsc.yamagata

山形県に避難しているすべての方へ

つながろうNET

http://tsunagarou.net/

「うえるかむ」に掲載された今までの記事のすべてと、リアルタイムなおすすめ情報、イベントカレンダー、うえるかむスタッフや支援グループのブログなどを掲載しています。ぜひご覧ください!



モバイル、スマホOK!



おうえんメッセージ

酒田市社会福祉協議会



平成25年度は、地域福祉課(写真左から)碓谷・伊藤・池田・和島の4名が担当します。訪問などを通して、みなさまが安心して日常生活を送れるよう、手助けできたらと考えております。交流会や相談会なども企画していく予定です。お気軽にご連絡ください!

From 福島

はじめまして☆

Earth Angels ぴゅ

「福島第一原子力発電所の事故により、離れ離れになった人との繋がりをもう一度考えてみよう!」と結成された団体が、アースエンジェルズです。福島県二本松市を拠点に、今年の春から活動が始まりました。

事故から日が経つにつれ、放射能に対する意識の差が広がっています。「不安」という言葉すら口にする事が難しくなっているのが福島の現実です。

私達は、みんながそれぞれの立場で苦しんだ時間と悩んだ時間、そしてこれから過ごす時間を大切にしながら、人々との縦と横の繋がり、子どもの幸せを願う親の気持ちを更に大切にしたいと考え、色々な悩みや不安を抱えている大人達に手を伸ばす事で子ども達の普遍的な生きる権利を守りたいと思っています。

主な活動は毎月2回、二本松の公民館などで Mom's cafe(お話し会) やワークショップを開いております。福島に來られた際には気軽に遊びに来てください(ね。(柗井)



♪活動内容詳細などはブログやFacebookでお知らせしています。ぜひご覧ください。

■ブログ: <http://ameblo.jp/earth-angels130115/>

■Facebook: NPO Earth Angels

♪ご相談・お問合せ

Mail: npo.earth.angels@gmail.com

TEL: 070-5624-9196 (安齋)

070-5625-0409 (柗井)

From 宮城

地域とそこで暮らす人たちのために! 特定非営利活動法人ガーネットみやぎ



「津波被災地域と周辺の地域の有志達が力を合わせ、地元の復興に向けて自分達に出来ることをしよう」と設立した、特定非営利活動法人ガーネットみやぎ。ガーネットの石言葉は「実りの象徴」。復興活動への想いが重なります。

活動内容は、「自立に必要な物資の集積・管理・配布」、「地域の特性を活かした産業創出の機会づくり」、「支援団体のコーディネート」、「イベント等での情報発信と物品販売」、「高齢者の見守り」など、多岐にわたります。

風化が進むことで支援が少なくなったり、被災者が自立しようとする気持ちを維持することに難しさを感じたり。また、復興に対する「想いの差」が作る地域の課題の複雑化など、解決すべき課題は山積みです。

ガーネットみやぎは、被災者を「受け手側」から「創造する側」へと変えていき、被災者自身が立ち上がりおこなう「地域に根付いた被災者自身による復興」を目指し、細やかなサポートをするために活動しています。若い世代が中心のガーネットみやぎ。今後の活躍に応援のエールを送ります。(石山)



■特定非営利活動法人ガーネットみやぎ
理事長 澁谷直美
WEB <http://www.garnet-m.net/>

From 千葉

山武市から贈り物

千葉県山武市の職員有志の方々と同じ市「体験工房よもぎかん」より、山形県内に避難している方が集うイベントやサロン数カ所に「イチゴのパウンドケーキ」が贈られました。

山武市では、今年3月に福島と山形をむすぶバス運行にも寄付金を贈呈したりと、山形に避難している方々に目を向けた支援を展開しています。

ビニルハウスで丹念に栽培されたイチゴを乾燥させ、生地に練り込んで焼き上げたパウンドケーキ。1本1本手作りりで、合計50本を山形に届けてくれたそうです。

今回の縁をつないだのは、山武市職員の秋葉さん。「今後も山形にいる皆さんにエールを送ってほしい」と、笑顔で話してくれました。山形・山武のつながりは、ますます楽しくなりそうです。

(海谷)



寄付を受けて実施した「SUN ムシくん号」



いちごのパウンドケーキ

「第一回ひなん女子会」開催

4月24日水曜日、鶴岡市ゆうあいプラザ
かたぐるまにて、「第一回ひなん女子会」が
開催されました。

昨年度、鶴岡市社会福祉協議会では「ひなん
ママの集い in 鶴岡」として、庄内地方に避難
してきた母親の茶話会を開催してきましたが、
「ママではないけど女性同士のおしゃべりをして
みたい」「いろいろな年代の女性と話してみたい」
と言う声が寄せられたことから「ひなん女子会」
とタイトルを変え、対象者も「震災をきっかけ
にこちらに暮らす女性・年齢制限等なし」と変
更して開催することになりました。

春先に鶴岡を離れた避難世帯もある中で、初
参加6名を含む15人の参加があり、20代前半独
身女性から70代高齢者まで幅広い年代で集うこ
とができました。「参加してよかった」との声が
聞かれ、新たな交友の機会になったことは何よ
りでした。(鶴岡市S)



今年もお花見しました♪



り、賑やかなお花見となりました。

今年のお花見は、「山形つながるプロジェクト」さんの
協力を得て、大きな鍋に玉こん、豚汁、ピザをその場で
調理。おいしい香りに包まれました。

千葉県山武市さんから頂きたいちこのパウンドケーキ
も、あつという間に売り切れる人気ぶりでした。

参加した方は、「りとする福島のお花見に家族で参加する
ことが、とても楽しみでした。春に帰福したので『おか
えり』と声をかけてもらった時、やっぱり山形も私にとっ
てふる里なんだあと実感して嬉しくなりました。久しぶ
りに会えたみなさんとお話し
ができ、楽しいひと時が過ぎ
ました。ありがとうございます
。」と語ってくれました。

山形に来て二度目のお花見。
こうして仲間と集い楽しい時
間を過ごせることに感謝し、
また来年も続けていけたらと
思っています。(神野)



うえるかむ

25年度 編集スタッフ のご紹介②



石山由美子 特定非営利活動法人 山形の公益活動を応援する会・アミル

はじめまして。特定非営利活動法人 山形の公益活動を応援する会・ア
ミルの石山由美子です。今月から主に私の故郷、宮城県の情報をお伝えし
ます。どうぞよろしくお祈いします。



佐藤 洋 NPOりとする福島避難者支援ネットワーク 代表

元々福島に友人がいっぱい居たのが縁で、震災直後から福島の方達の支援に関わっています。今では福島の方が100
倍ぐらいに増え、自宅には福島猫が居住。そんな毎日を楽しんでいる45才青年。



橋本 奈津美 NPOりとする福島避難者支援ネットワーク

山形市へ母子避難してきて2年目になります。子どもは長男一年長 長女→2歳です。うえるかむに携わりながら勉強
し、色々な方たちとの関わりを大切にしたいと思います。

まだまだ未熟者ですが一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお祈いします！

36号・37号でご紹介した編集スタッフは、フリーペーパー「うえるかむ」(本紙)とウェブサイト「つながろうNET」・「や
まがた休日保養」のコンテンツ取材編集などを行っています。みなさまからの情報で成り立っています。イベントや企画のお知
らせや避難生活に関すること、つぶやきなど情報をお寄せいただければ幸いです。これからも宜しくお祈い致します。

今月のキーワード 生活支援相談員

山形での暮らしを

全力でサポート

生活支援相談員の活動

山形県社会福祉協議会

築瀬 恭子

山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、
寒河江市、長井市、天童市、南陽市、
高畠町の社協で活動しています。



生活支援相談員とは…

避難者の孤立を防ぐことを目的として、平成24年1月から始まった取り組みです。

現在、特に避難者世帯が多い9市町（山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、寒河江市、長井市、天童市、南陽市、高畠町）の社会福祉協議会で、21名の生活支援相談員（以下、相談員）が活動しています。訪問活動では、個人情報共有に同意いただいた、県内約1700世帯を訪問しています。困りごとの相談をはじめ、行政情報や交流イベントなどの情報提供を行うことで、避難者間や地域とのつながりづくりをサポートしています。

山形県社会福祉協議会では、相談員同士の情報交換や課題の共有を図るため、連絡会議を年4回実施しています。4月17日、第1回目の連絡会議では、普段の活動において心がけていることやこれからの支援内容、課題について話し合いました。

相談員の訪問活動は、支援を受けられないということがないように、平日仕事などで会えない世帯に対しては土日に訪問をしたり、避難者サロンに積極的に顔を出してコミュニケーションを図ったりするなどの工夫をしています。

一方で、何回訪問しても不在の世帯があるのも現状です。避難元に戻っているのか、山形にいるのか、連絡がつかず実態把握が難しい状況もあります。

避難生活が長期化する中、単独では解決が難しい問題を抱えるご家庭も見受けられます。専門機関との連携も、これから強化していかねければならない点です。また、今まで取り組みの少なかった高齢者向けサロンや、父親も含めた家族で参加できるイベントを開催するなど、より幅を広げて地域のつながりづくりを進めていく予定です。

相談員は避難されている皆様の山形での暮らしを全力でサポートします。どうぞお気軽にご相談ください。



社会福祉法人
山形県社会福祉協議会
〒990-0021
山形市小白川町二丁目3番31号
(山形県総合社会福祉センター内)
TEL.023-622-5805
FAX.023-622-5866

motto みんなの声

- 最近思うこと…私が登録しているメーリング。今はイベント情報がメインで避難生活を続けるのに、みなさんの気持ちの変化などちょっぴり気になります。帰福した方からの福島今の情報など投稿してもらえたらいいなあと思っています。(福島市→米沢市)
- 山形へ来て、2年目になります。毎週末主人が来て日曜日の夜に帰るのですが、5歳の息子は主人と離れる時に今もなお泣いています。それを見ると私もせつなくこのまま離れ離れでいいのか考えてしまいます。(福島市→山形市)
- 今年のお花見は、山形に来て出会った仲間とわいわい楽しめました。震災がなかったら出会えなかった友人との縁。決して喜ばしいことではありませんが、この縁、そして仲間を大切にしたいです。(郡山市→山形市)
- 宮城にいる片思いの同級生が気になります。毎夜のメールが楽しみです。(宮城県→山形市)
- 借り上げ住宅入居期限延長の発表がありました。期限をきっての支援でよいのでしょうか。不安はつきません。(福島市→上山市)



「みんなの声」につぶやきを送ってみませんか？

みんなどう感じているんだろう、何を思っているんだろう。そう思ったことはありませんか？今までに例のない避難生活を送っているんだもの、それはとても自然なことです。「みんなの声」は、あなたの気持ちを伝え、誰かの気持ちを知ることができるコーナーです。まずは思いを伝えあうことから始めてみませんか。

メールの場合は kizuna@yamagata1.jp に、タイトル「みんなの声」で送信してください。

郵送やFAXでも、復興ボランティアセンターで受け付けております。以前と今のお住まいの市町村も添えてね。

モバイル、スマホOK!



おすすめ情報

[村山地区]

■プロ野球「巨人-ヤクルト戦」に 100 名様ご招待

山形県で開催されるプロ野球公式戦「巨人-ヤクルト戦」に、避難者 100 名様をご招待いたします。

日時：7月9日(火) 18:00 試合開始

場所：荘内銀行・日新製菓スタジアムやまがた(山形県野球場)
山形県東村山郡中山町長崎 5081 番地

申込方法：申込者氏名、現住所、電話番号またはメールアドレス、避難元住所、同伴者がいる場合は同伴者の氏名及び申込者との関係(続柄)を記入のうえ、はがき・FAX で下記あてにお申し込みください。

[申込み先]

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 山形県教育庁スポーツ保健課 企画担当 FAX:023-630-2893

申込締切：5月31日(金) 当日消印有効

[問合せ] TEL: 023-630-2561

※お申込み多数の場合、抽選のうえ、ご招待者のみご連絡いたします。

■マクロビオティック手当て法講座

内容：「放射能対策、春のデトックス」

日時：5月29日(水) 受付9:50 開始10:00～14:00

場所：江南公民館(山形市江南一丁目1番27号)

参加費：500円

託児：あり(申し込み時にお子さんの名前、年齢をお知らせください。)

申し込み締め切り：5月25日(土)

申し込み先：Mail: kamino@littlefukushima.net

TEL: 070-5474-0455 (りとる福島：神野)

企画：りとる福島、子どもの未来を守る会やまがた

■村山地区ふくしま子どもみらいひろば 移転のお知らせ

移転先：山形市木の実町8-3 日本興亜損保山形ビル4F

TEL: 070-6950-2940

駐車場：日本興亜損保ビル沿いの公園通りパーキング

No25,26,27,30,34,36、豊烈神社社内 No46,47,60 です。

駐車の際はひろば駐車登録カードをお渡しします。お車のダッシュボードの上に、見えるようにご提示ください。

☆IKEAのおもちゃもあります。気軽に遊びにきてね!

[置賜地区]

■福島民友・福島民報の設置場所が増えました

場所：米沢市すこやかセンター1Fロビー

(米沢市西大通1丁目5-60 TEL: 0238-24-8181)

※施設前に公園、施設内に遊戯場もあります。

お気軽にご利用ください。

■この指と〜まれっ！ハンドメイド講座

"世界にひとつ" 素敵なものをつくりませんか? みんなで楽しいひとときを過ごしましょう!

日時：5月24日(金) 10:00～14:00

10:00～12:00 ハンドメイド体験講座

12:00～14:00 お茶会、軽食

場所：米沢市すこやかセンター3階 栄養指導室ほか

参加費：300円(軽食代として)

講座内容：

①クラフトバンド(講師：齋藤静子さん)

②デコクレイクラフト[紙粘土細工](講師：佐藤りつ子さん)

③フラワーアレンジメント(講師：上野寛さん)

定員：各講座10名程度

☆お友達と一緒に、もちろんひとりでの参加もOK!!

☆託児もありますよ! 受付時にお伝えください。

受付締切は5月15日(水) 17:00まで。

[問合せ] 米沢市社会福祉協議会

(上浦、または生活支援相談員まで) TEL: 0238-24-7881

[庄内地区]

■原子力損害賠償支援機構【無料個別相談のご案内】

(1) 6月1日(土) 酒田市総合文化センター

(2) 6月2日(日) 鶴岡市総合保健福祉センター(ここ♥ふる

時間：全体説明10:00～11:00(両会場とも)

無料個別相談11:30～16:00(両会場とも)

☆両会場にて託児を実施いたします。予約の際に託児を希望する旨をお伝えください。

[無料相談・託児の事前予約]

予約専用フリーダイヤル 0120-330-540

予約受付時間：9:00～17:00(年中無休)

[最上地区]

■遊学の森[森の祭典・森のコンサート]

日時：6月9日(日)

☆森の祭典 10:00～有屋小鼓笛隊の演奏・チェーンソーアート実演(オークション) ※一部有料です。

☆森のコンサート 13:00～「みどりは地球を救う」をテーマにした音楽会。 ※入場無料です。

※詳しくはお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

[お問合せ] 遊学の森「木もれび館」 TEL: 0233-64-3305

H P: <http://www.town.kaneyama.yamagata.jp/yugaku/>

うるかむは県内各地で設置しています

【山形市】復興ボランティア支援センターやまがた/村山総合支庁/山形県庁1Fロビー/山形市内の公民館・コミュニティセンター(28施設)/山形県立博物館/山形市避難者交流支援センター/山形市総合福祉センター/山形テルサ1F/百目鬼温泉/真宗大谷派山形協会/立石寺華蔵院/ままカフェ@home/福山ひろば/ふくしま子ども未来ひろば/あひび保育園/りとる福島事務局/山形市民活動支援センター/チェリア/イオン山形南店/生活協同組合共立社(CO-OP)(山形県内)/ひまわりマッサージ【天童市】天童市避難者サロン・AtTendoひろば【寒河江市】寒河江市社会福祉協議会/フローラ寒河江1F避難者交流ひろば/村山総合支庁西庁舎/寒河江市立図書館/寒河江郵便局/ゆ〜チェリー【上市市】上市市社会福祉協議会【東根市】東根市タントクルセンター【村山市】 藍葉プラザ【米沢市】 置賜総合支庁/米沢市避難者交流センターおいで/米沢市社会福祉協議会/米沢市すこやかセンター/アクティー米沢/米沢市立児童会館/ハラトク書店/鷹山の湯/おいたまサロン・ふわっと/moto808【南陽市】南陽市社会福祉協議会【飯豊町】道の駅いでめぎみの里観光物産館【高島町】高島町役場1F/浜田広介記念館/永和軒【川西町】おきたまネットワークサポートセンター/おもいで館【鶴岡市】鶴岡市立図書館/フクシマの子ども未来を守る家【酒田市】酒田市ボランティアセンター/酒田市公益活動支援センター【庄内町】庄内町社会福祉協議会【三川町】庄内総合支庁/イオンシネマ三川【新庄市】最上総合支庁【金山町】山形県遊学館「木もれび館」【その他】元気玉プロジェクト推進本部(福島県会津若松市)/うつくしまNPOネットワーク(福島県郡山市)/NPO法人福島ライフアイド(福島県福島市)/東北自動車道管生PA上下(宮城県柴田郡)/東北ろっけんパーク(宮城県仙台市)

ひと休み

ぬか漬けの風味が簡単に出来る！ カブのヨーグルト漬け

<材料>

A. ヨーグルト漬け物床
プレーンヨーグルト 1箱 (450g)
塩 小さじ4と1/2
昆布 少々

カブ(小) 4個
ニンジン(中) 1本

<作り方>

- ① 容器にAをよく混ぜ合わせて、つけ床を作っておく。
- ② カブは皮を剥いて2つに切る。ニンジンをよく洗って水気を拭き取っておく。
- ③ ②の野菜は①のつけ床に入れて、冷蔵庫で保存する。
- ④ 野菜が漬かったら水洗いしていただく。



レシピ提供：
在来作物案内人 鈴木淳子さん

★食材によって漬け時間が違いますが、このつけ床なら、2～3日漬けておいたままでもしよっぱくなりすぎません。その他、きゅうり、セロリなどを漬けても美味。

やまがたの避難者受入状況 2013. 4.18 現在

合計 9,477名

福島県から 8,933名 宮城県から 488名 その他の県から 56名

[村山地域]	[最上地域]	[置賜地域]	[庄内地域]
山形市：3,629名	新庄市：57名	米沢市：2,557名	鶴岡市：323名
上市市：197名	金山町：8名	長井市：234名	酒田市：325名
天童市：558名	最上町：9名	南陽市：320名	三川町：14名
寒河江市：393名	舟形町：7名	高畠町：251名	庄内町：10名
村山市：43名	真室川町：3名	川西町：50名	遊佐町：16名
東根市：245名	大蔵村：0名	小国町：7名	
尾花沢市：15名	鮭川村：3名	白鷹町：20名	
山辺町：45名	戸沢村：1名	飯豊町：40名	
中山町：18名			
河北町：55名			
西川町：3名			
朝日町：13名			
大江町：7名			
大石田町：1名			



★4月4日から4月18日までで64人減少しました。

山形で休日を過ごしたい方へ

やまがた休日保養

<http://tsunagarou.net/hoyou/>

県外にお住まいの方が山形でゆっくり過ごすことができる保養企画や、県内各市町村ごとの施設情報などをこのサイトに集約しています。ぜひご覧ください。
(情報提供もお待ちしています！)

モバイル、スマホOK!



みなさまからの情報をお寄せ下さい!



避難されている方に伝えたいメッセージ、サービス、イベントなど、避難されている方からの声や要望など、みなさまからの情報をお待ちしています。「復興ボランティア支援センターやまがた」まで、ぜひお寄せください!

メールでの情報提供は kizuna@yamagata1.jp

FAXでの情報提供は 023-674-7312



支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/>

次号は6月19日発行です

情報提供や寄稿は、
6月1日までにお願いします。
お待ちしております!

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

- * うえるかむの発送、配布がすんだと思えば、もう締め切。月一発行でも忙しさは変わらない。(クマもん)
- * 桜のあとはタンポポがキレイです。GWは出羽三山でパワーチャージしてきます!(多)
- * 年度明けはへろへろでしたが、郷里の酒田市で「玉簾の滝」のライトアップ(MYお薦めスポット)を見ながらマイナスイオン吸い込みまくって復活しました。また頑張ります。(ひろびい)
- * 帰福してからまだ片付けも終わらず毎日が慌ただしいです。GWは山形でenjoyしましゅ!(じゅんちゃん)
- * 大切な人にその想いを伝えられる時間は有限なんだなあと、最近しみじみ思います。やっぱり「今」。(海)
- * 帰福して早1ヶ月。入園、入学、学年役員、団体立ち上げも重なり忙しくて目が回りそうです。(まさき)
- * 編集に参加したことで、「復興」への意識、情報などを発信する感覚が高くなったかな。(ゆきみん)
- * 避難者お花見会に行ったところ誰もいませんでした……雨天で会場が変更になったことを知りませんでした……(まっちゃん)